

## 遠足についで

こう思う

特集



(母親)

### 大友美也子

子供達の楽しみの一つである遠足――。

幼稚園から遠足の通知を頂いて帰ると、もうその日から、カレンダーにしるしをつけ「あと五日。」「あと四日。」と指折り数えてその日の来るのを待っています。何時もきめられた日に、予定通りの遠足が出来て居りましたのに、今年は天気恵まれず、予定の日が、二度も雨で延期となり、やっと三度目に行けたような次第で、母親の方はお弁当作りも三度、お菓子買ひも三度させられてしまいました。子供も起きると、雨降り又雨降り、機嫌が悪く、濡れて、し

おれた、てるてる坊主を見ると、母親までも悲しい気持ちに、させられるのでした。

こんなに人気のある幼児の遠足を、私達母親はどのように、見、又感じているのでしょうか。自分の経験、知人友人等の母親としての意見等も入れて、考えて見度いと思えます。

私の長女の場合(昭和二十四年頃)

次子出産の為、長女は、近所の幼稚園に入れました。此処は幼児の生活訓練を主にした特殊の幼稚園でありましたので、入園後二ヶ月位に行われた遠足も、勿論附添無し

の先生と子供だけのもので、

多摩川原・井の頭公園等

に行きました。生れてはじめて親の許を離れた遠出で、家では銘々子供の迷い子札を作り、首に下げてやり、又各家庭より提供した絹の三角巾を、幼稚園で、赤、黄、紺等に染めて頂き、色分けの首巻きをして出掛けて行きましたが、今迄にそのような経験を持ったことの無い親は、帰るまでは何となく不安でなりませんでした。然し心配している程のこともなく、子供達は皆元気に帰って来ました。各級毎の遠足でしたから、一組三十人程に、先生が四、五人行つて下さるのですから手も届き、又この時の様子を、何時も、細々プリントで報告して下さいましたので、家では思いもかけなかつた子供の動きに、驚いたり、喜んだり――。とにかく二度目から親は安心して子供を手離すことが出来るようになりました。小さい中から独立心を養う行き方を進むこの幼稚園は、ずっと今でも附添無しの遠足ばかりを続けているそうです。親が行かないから子供の楽しみは、半減するもの

ではなく、子供達にとっては、家の人とは別に行く遠足の方が、かえって興味深いものであつたかも知れません。又親無しの遠足は、外見もさっぱりしていて良いと思ひました。

#### 私の長男の場合（現在）

長男は、両親と同じ幼稚園に入れて頂きましたが、こちらは長女の時は正反對の行き方で、何時も附添を必要とする旨の刷物を頂きますので、雑用に追われ家に閉じこもり勝ちの母親は、子供の附添と言う名目のもとに正々堂々と半日の郊外行きに楽しんで頂ける特点もあると思ひます。

#### 浜田山（三井グラウンド）

#### ニッサン厚生園（井の頭公園隣り）

に行きました。費用の方は、PTA会費の方から出して頂き、場所及びコースの選定も先生の方におまかせして居ります。いずれもあまり大衆的な所ではなく、静かで、子供の遊具等もあり評判も良いでしたが、秋、春と同じ場所が重つて、ガツカリした親側の声も大分聞きました。親達も一緒に楽しんで頂く遠足ですから、出来ること

なら、違った所に行かせて頂き度と思ひます。若い元氣な母親達は、時にはバスを利用して、もう少し遠出をし、目的地に着いてからの時間を、ゆっくりとり、親同志で遊び度いとも言つて居ります。翌日は子の為にも親の為にも是非休みにしてほしいと思ひます。子供は案外疲れないようですが、休園である方が矢張り自然のように思われます。

次に都内二、三の幼稚園の遠足と、母親側の意見を掲げて見ましよう。

#### 牛込方面の一幼稚園

最近出来た新しい幼稚園で、子供達の家庭も大体揃つて居ります。此処では、

(一)子供の団体行動、訓練を目的とした遠足。

(二)母と子のリクリエーションの為の遠足。の二通りに分けて行つて居ります。「いろいろな所に連れて行つてやり度い。」と言う親側の、希望が強いので、(二)の方に力を入れ貸し切りバスで、

#### ユネスコ村及村山貯水池方面

#### 羽田空港及横浜方面

に行きましたが、子供達の興味も深く、親達も、あまり行つたことのない所でもあり殊に評判が良いでした。

#### 杉並方面の一保育園

費用のからぬ点を第一の主眼として、保育園側に場所の選定をして頂きます園児の母親は、皆仍いていますので、大体親子のリクリエーションをかねたものにしてあります。家庭、職場等、これ等の人々の生活に一番不足している緑を求め、

小金井緑地（武蔵野郷土館がある。国電小金井駅北方、徒歩二十分位。）に、しましたが、此処は、一面の広い原っぱで、存分な憩いが出来、帰りに、おみやげに、美しいグリアの花等頂き、一層好評でした。

#### 下谷方面の一保育園

此処は、宗教の団体で、外地からの引揚者孤児等も居るので、この人達に、少しでも寂しい思いをさせぬよう、不断の屋食も、皆、一様の給食制にしています。遠足の菓子、果物も一切、保育園の方で、PTAのお金で、用意して、持つて行つて下さり、目的地で、先生、親、子、皆同じおやつを

頂くのも、よいものです。

京成谷津遊園地・浜離宮・下総中山の開放している一邸宅

等は、こじんまりとした遠足で、皆それぞれに楽しめ、評判が良いでした。

#### 上野動物園

は、他の団体が多過ぎ動物すら見ることも出来ず、失敗に終わりました。船に乗って海に出て見度いと希望もあります。

近県の幼稚園も大抵親も一緒に遠足をしている所が多いようですが、農村の保育所等になると、条件も違い、親の意見も異って来ると思われますが、今回は其処まで比較研究するに、至りませんでした。

今迄、幾つかの例を挙げましたように、幼稚園や保育園では、種々様々の遠足を行っていることがわかります。母親側からの意見を通して、更に私は左のような事を望んでいます。

親子のリクリエーションの遠足が、近頃随分多くなって来て、どうかすると親の方が楽しむ遠足になりそうな心配があります。親子共々楽しむことは、有意義なこと

と思えますが、どんな場合でも、幼稚園の遠足はあくまでも幼児中心のものでありますように。幼児の心身の発達、興味の程度等、発達段階を誤らぬよう、あまり大規模のものでないことを望みます。

・都会の子供達には、この機会に、新鮮な空気を十分に吸わせ度い。又、自然の中で、より豊かな生活を持たせ度い。

・子供達の為に、便所が、不潔でないことも希望致します。

・幼稚園側の方針に従い、附添人が行ってもよい時には、家の誰か、都合をつけて、一緒に行き、大いに楽しく過し度いものです。

出来ることなら、母親が行き、ごく自然的な子供達の行動を、それとなく見、何時も特種な存在に見えて仕方のない我が子を、客観的に眺めることが出来たなら、親の行った遠足が、より価値づけられることでしょう。

(新宿区下落合一ノ四二九)

(38頁より続く) 文部大臣指定の幼稚園教員養成機関は二年課程つまり二級普通免

許状を授与するための養成機関となった。これは仮免許状が廃止された結果からである。(法第五条第一項別表第一備考二)

2、従来の一年の養成機関は、昭和三十三年三月三十一日まで認められる

文部大臣指定の幼稚園教員養成機関は、仮免許状が廃止されたので当然廃止されるべきであるが、これらの養成機関が二年課程への移行準備のためと、仮免許状所有者等が二級普通免許状をとるために認められた猶予期間(昭和三十三年三月三十一日)とを考えて、昭和三十三年三月三十一日まで存続を認めることになった。したがって一年の養成機関は、昭和三十三年四月の入学者まで募集できるわけである。また、二年の養成機関は、法的には今年の十二月三日から設置できるが、実際には昭和三十年四月一日から設置し、入学者を募集できるようになる。なおこの二年課程の養成機関は、教員を養成するという点だけからすれば、短期大学と同じであるから、従来の一年の養成機関とは大分変わった施設設備や教員組織の充実が要求されるであろう。

(文部事務官)